

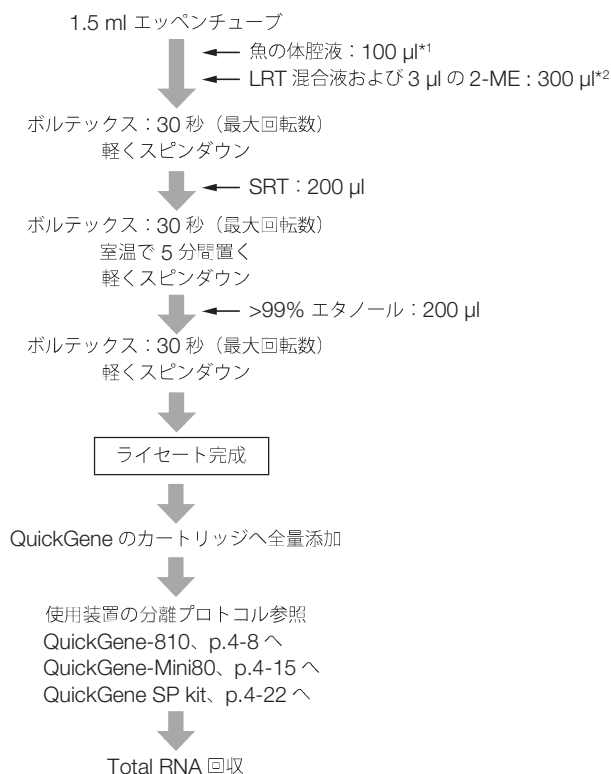
## 3-XIV 章

魚および貝からの total RNA分離

---

## 魚の体腔液からの total RNA分離

### プロトコル



\*1 凍結と融解が繰り返された場合、6,800×g で3分間遠心して上清を採取する。

\*2 LRT 混合液：キャリアー RNA 310 mg を 11.6 ml の LRT に溶解してください。

### 結果

#### 電気泳動図

データなし

#### Total RNA の収量

データなし

#### タンパク質の混入：A260/280

体腔液の量	A260/280
100 µl	1.6

#### カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

#### その他

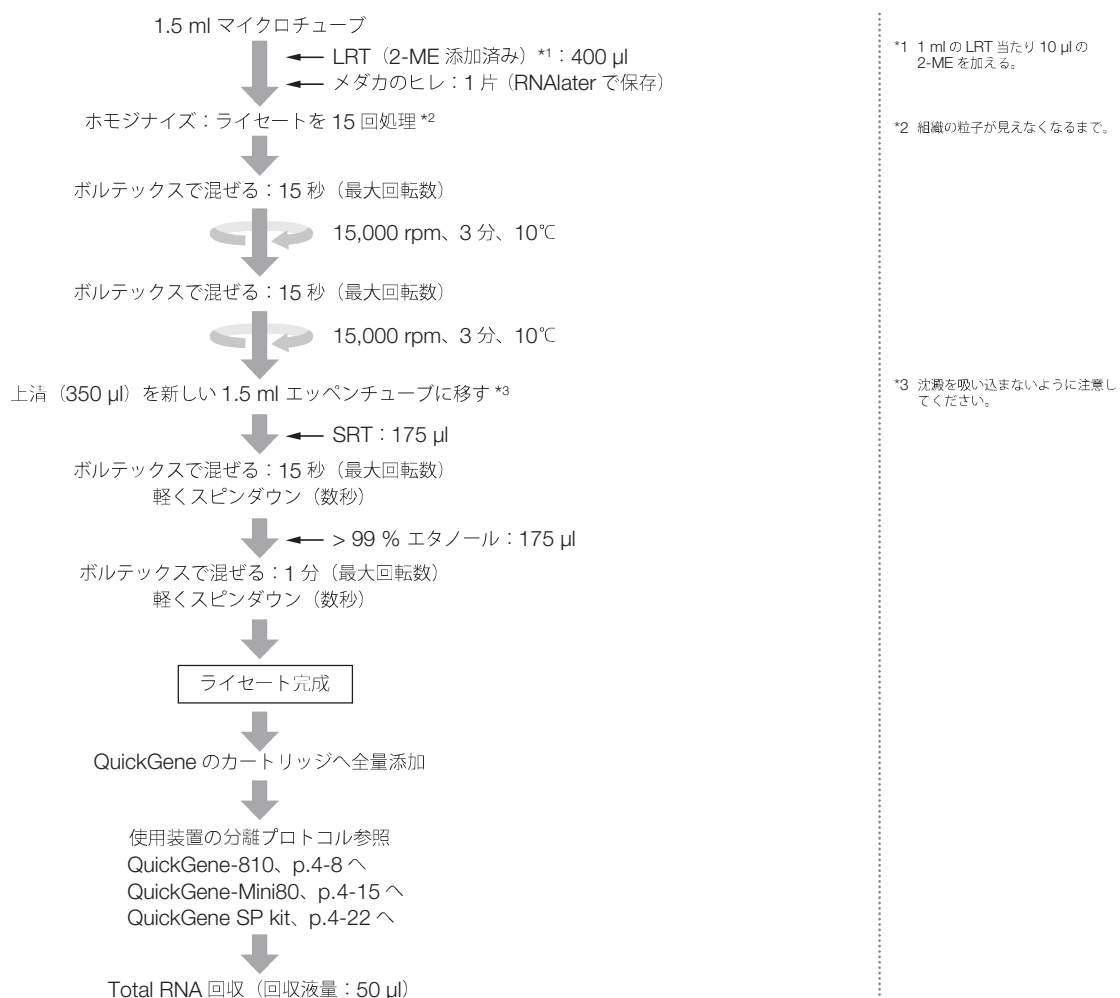
データなし

### 共通プロトコルサンプル

データなし

## メダカヒレ（鱭）からの total RNA 分離

## プロトコル



## 結果

## ■ 電気泳動図

データなし

## ■ Total RNA の収量

ヒレの量	収量 (µg)
1 片	2.0

## ■ タンパク質の混入 : A260/280

データなし

## ■ カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

## ■ その他

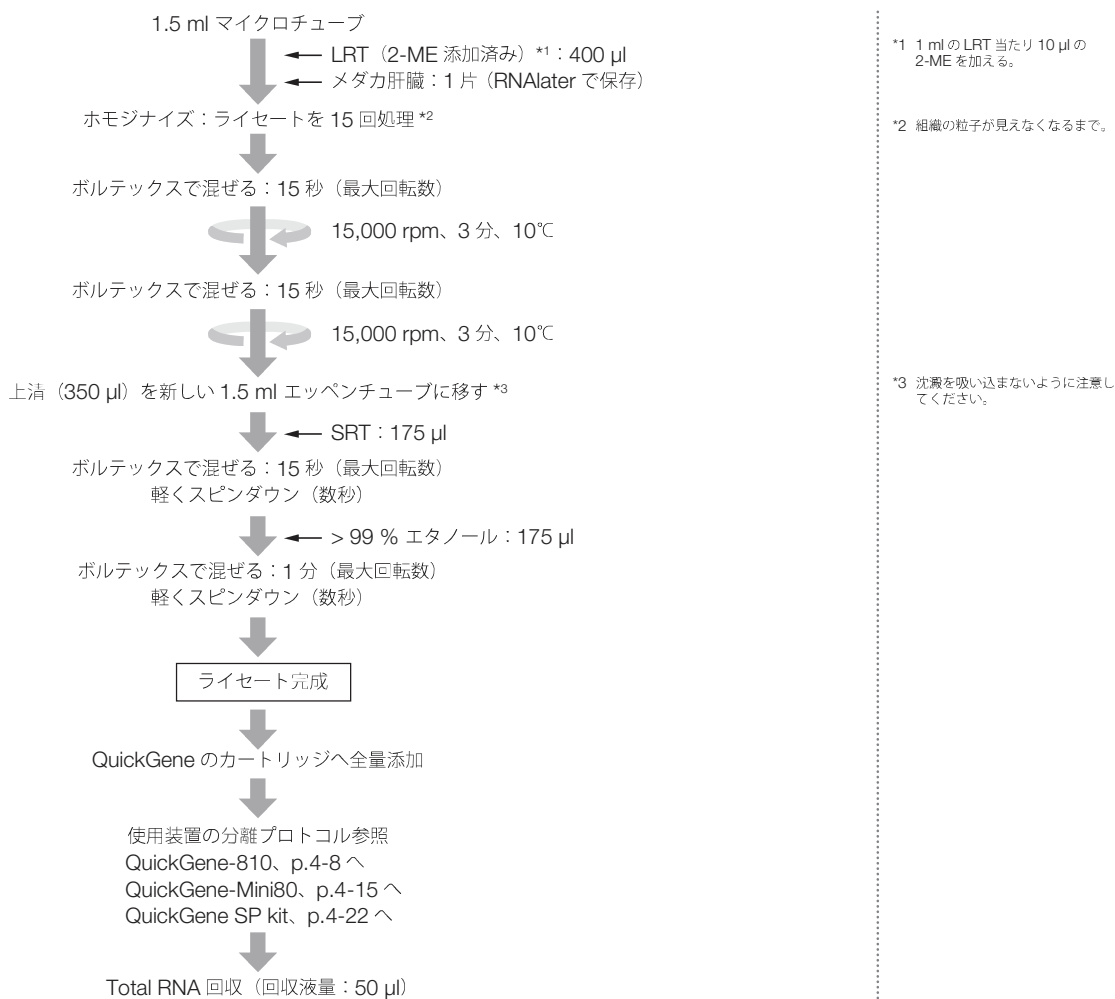
データなし

## 共通プロトコルサンプル

メダカ肝臓

## メダカの肝臓からの total RNA分離

### プロトコル



### 結果

#### 電気泳動図

データなし

#### Total RNA の収量

肝臓の量	収量 (µg)
1 片	約 20.0

#### タンパク質の混入 : A260/280

肝臓の量	A260/280
1 片	2.1

#### カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

#### その他

データなし

### 共通プロトコルサンプル

メダカのアヒレ